

核兵器で平和は守れるか？

核兵器のない世界を実現するには？

ノーベル平和賞受賞



ICAN 川崎哲さん語る

今年は核兵器禁止条約の発効が期待されています。

一方で、トランプ政権は「核態勢の見直し」を発表して禁止条約を真っ向から否定し、その先制使用すら打ち出しています。更に日本政府も、この方針を高く評価するとしています。

だからこそ「ヒバクシャ国際署名」を広げ、あらゆる違いを越えて核兵器廃絶を求める草の根の力で政治を動かす時です。

昨年12月被爆者のよびかけに賛同した多くの団体・個人で発足した「ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会」の取組みにぜひご参加ください



川崎哲(かわさきあきら)さん

ピースポート共同代表。核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員。2008年から広島・長崎の被爆者と世界を回る「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」プロジェクトを実施。2009～10年、日豪両政府主導の「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」でNGOアドバイザーを務めた。

2018年4月16日(月) 18:30～

エルおおさか 南館ホール (地下鉄谷町線 天満橋駅 徒歩5分)

資料代 500円

主催:ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会

問い合わせ 大阪原水協
〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 新谷町第三ビル 210号室
TEL:06-6765-2552 / FAX:06-6765-2837 E-mail:osk-gensuikyo@piano.ocn.ne.jp